

公 安

131. 交 通 事 故

昭和56年中に県内で発生した交通事故は発生件数17,490件（対前年比6.1%増）、死者数415人（対前年比3.9%減）、傷者数22,123人（対前年比3.0%増）となった。

原因別についてみると、わき見運転（後方安全不確認を除く）が7,313件（41.8%）で最も多く、次いで徐行違反1,384件（7.9%）、交差点安全進行違反1,066件（6.2%）、安全速度不保持661件（3.8%）、信号無視628件（3.6%）となっている。

(1) 交通事故件数と被害状況

年	件 数			死 傷 者 数		
	総 数	車両によ る原因	歩行者に よる原因	総 数	死者数	傷者数
昭和51年	12 841	12 793	48	17 323	387	16 936
52	11 920	11 888	32	16 431	372	16 059
53	12 708	12 676	32	17 737	322	17 415
54	15 607	15 560	47	20 734	372	20 362
55	16 483	16 304	179	21 917	432	21 485
56	17 490	17 236	254	22 538	415	22 123

資料 警察本部「交通白書」

(2) 原因別交通事故件数

昭和56年

原 因	件 数	構成比	原 因	件 数	構成比
総 数	17 490	100.0	最 高 速 度 害 行 反 行 し 離 反 転 他	424	2.4
車 両 に よ る も の	17 236	98.5	歩 行 者 によるもの	254	1.5
安全運転義務違反	9 810	56.1	と び だ し	136	0.8
前方不注意	2 935	16.8	車 両 の 直 前 直 後 横 断	45	0.3
安全不注視	3 604	20.6	信 号 無 視	29	0.2
安全速度不適合	1 599	9.1	指 定 場 所 一 時 不 停 止 等	488	2.8
ブレーキ操作不適	661	3.8			
ハンドル操作不適	331	1.9			
その他	420	2.4			
徐行違反	260	1.5			
交差点安全進行違反	1 384	7.9			
信号無視	1 066	6.2			
酒酔い酒気帯運転	628	3.6			
指定場所一時不停止等	595	3.4			
	488	2.8			

資料 警察本部「交通白書」